

我孫子第三小学校 学校だより

Sunshine



学校 HP <http://ncsv.school-abiko.jp/abk3/htdocs/>

学校教育目標

自ら学び 支え合い たくましく生きる子の育成

令和3年度 3月号

TEL 7184-1171

令和3年度 学校評価アンケート結果について

令和3年度 学校評価アンケート結果についてご報告いたします。今年度は、児童も含めた全ての回答を、記名方式によるオンラインアンケートとして実施しました。児童一人一人のご家庭での状況を反映したく、保護者の方には、家庭数ではなく児童数での回答をお願いして実施しています。

また、児童は、自分自身でタブレットを使って回答することから、低学年用（主にひらがな表記）高学年用（主に漢字表記）と分けて実施しました。そのことにより、低学年から高学年への変化についても回答に表れる結果となり、今後に生かすことができるようになりました。

1. 実施日 保護者・教職員 令和3年12月実施、 児童 令和4年1月実施

2. 実施者及び回答率

	配付数（人）	集計数（人）	回収率
教職員	38（回答対象者）	38	100%
保護者	707（児童数で回答）	321	45.4%
児童	707	702	99.2%
全体	1333	1061	79.5%

3. 学校評議員による学校評価の取組自体への評価（学校評議員会議 2/25 実施）

評価項目	良い	おおむね	あまり	良くない
		良い	良くない	
① 学校評価の流れについて	100%	0%	0%	0%
② 評価項目の妥当性について	80%	20%	0%	0%
③ 評価の客観性について	40%	60%	0%	0%
④ 評価に基づく改善について	100%	0%	0%	0%
⑤ 情報の公開について	80%	20%	0%	0%

評価の客観性については、学校評議員の方の評価が今一步となっています。保護者の回答率が低かったことが要因と思われます。実際に授業参観をする機会はなく、一部の行事の参観と説明・協議となったため、答えづらかったことや、回答する項目が多く負担が大きかったこと等が考えられます。また、昨年度に引き続きオンラインアンケートとしましたが、紙媒体と併用する等の工夫が必要だと感じました。教職員、児童と合わせると79.5%の回答率となりますが、保護者の方のご意見を吸い上げていけるよう、改善に努めてまいります。

4. 集計結果の見方について

- ・ 集計結果の設問の文言は、児童アンケートに合わせています。教職員と保護者は、それぞれの立場に読み替えてご覧ください。

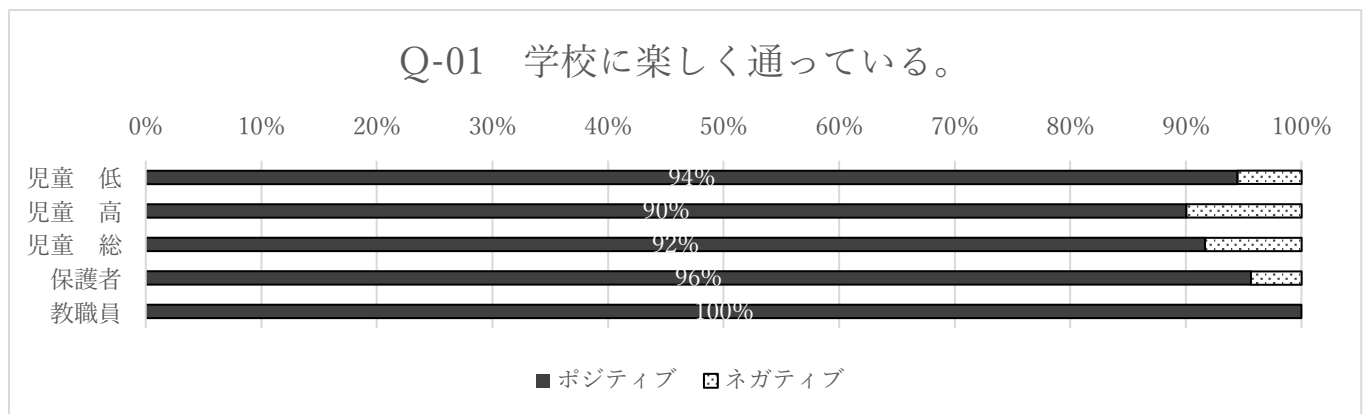
(例) 児童…「学習や生活で先生にほめられる。」

保護者…「お子さんは、教員からほめられたことを家で話している。」

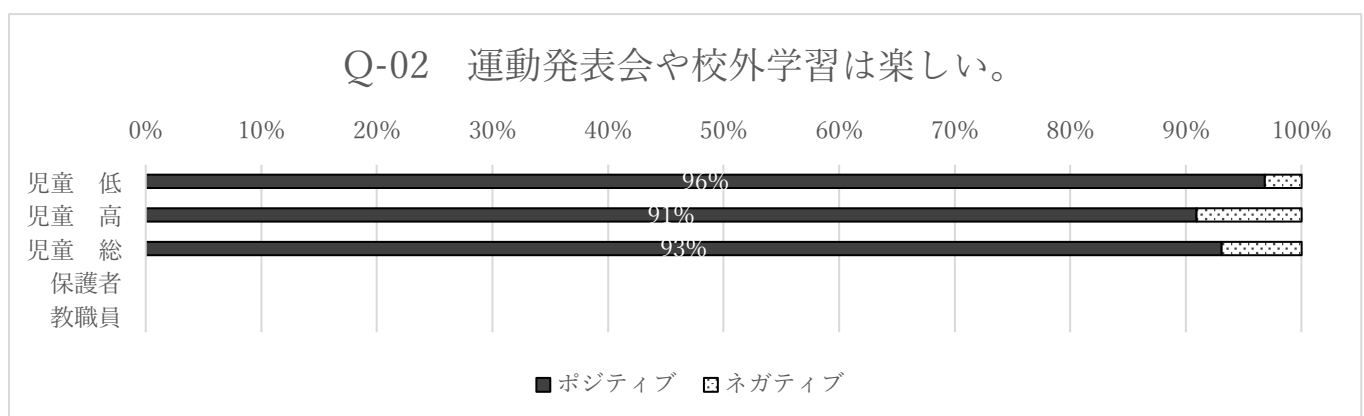
教職員…「私は、児童の良いところを見つけ、積極的に褒めている。」

- ・ 「思う」「だいたい思う」の合計を「ポジティブ（肯定的）回答（評価）」と表記しました。
- ・ 「ポジティブ回答」が80%以上は、目的を概ね達成していると考えます。来年度もこのまま継続できるよう努力していきます。
- ・ 「ポジティブ回答」が80%未満は、何らかの課題があると考えます。その課題を明らかにし改善するよう努力していきます。

5. 回答の集計結果と分析・考察

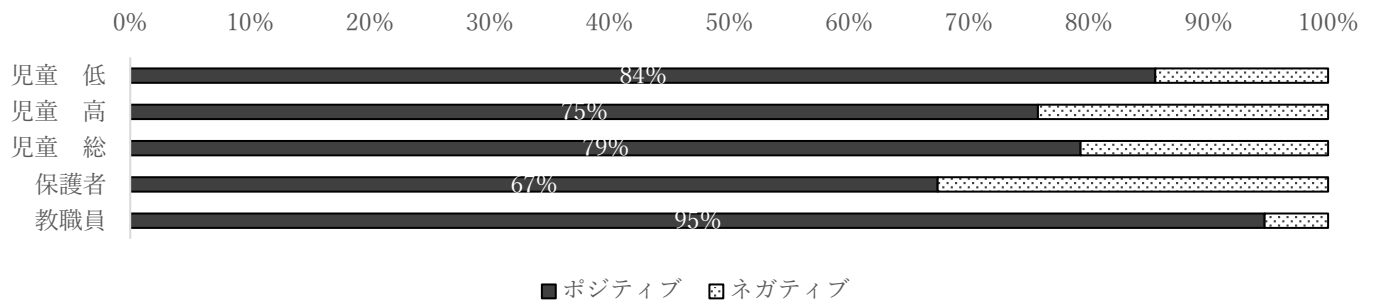


昨年度同様、全ての対象者で90%を超えており、ポジティブな回答でした。気になるのは、高学年が、低学年よりポジティブ回答が下がっていることです。今後、高学年に対して、学習や人間関係構築にあたって支援をしながら、学校生活の充実度を高めていけるよう努めていきます。



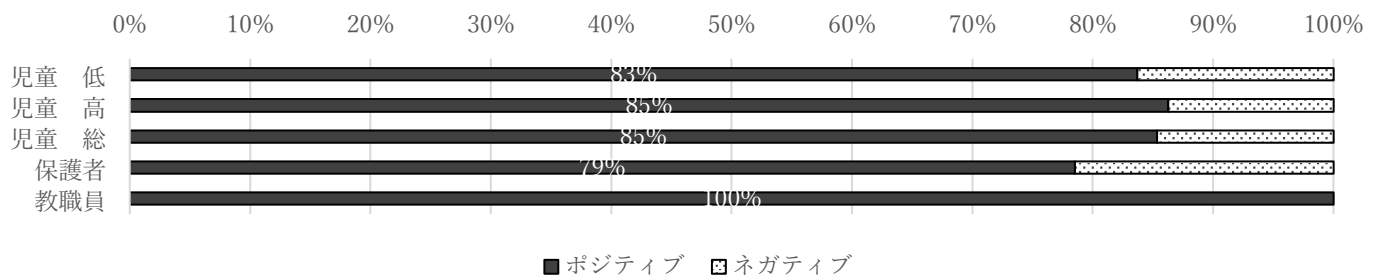
児童のみの回答です。Q1と同様、90%のポジティブ回答を得ていることから、十分目的を達成できていると考えます。ただし、高学年になるにつれポジティブ回答が下がっていることは気になります。コロナ禍で修学旅行の中止やサマースクールの延期があったことが大きく関係していると思われます。また、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、学年ごとに開催する行事が増えているため、高学年が学校の為に行事に関わる機会が減っています。そのことから、高学年としての自覚ややりがい下がっていることも考えられます。行事の精選を図りつつ、児童にとって充実した活動になるように引き続き工夫して参ります。

Q-03 生活や学習で先生にほめられる。

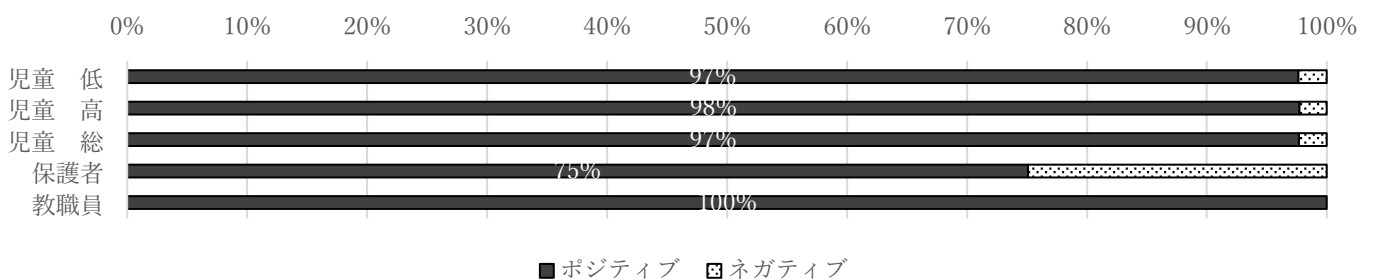


児童のポジティブ回答は、昨年度より13%上昇していますが、教職員の意識とのずれが見られます。教職員は、日頃ほめているつもりでも、改善が必要な場面では注意をしたり叱ったりします。児童は、ほめられることより注意される場面が多いと感じているのかもしれませんが。大人から見たら当たり前のことでもできていればその努力をほめ、共に喜ぶことを大切にしていきます。そして、注意された事柄を改善できれば「できたね。」と認める声掛けをしていきます。児童の自己肯定感を上げていけるよう取り組んでいきます。また、児童ができたことを保護者の方に丁寧に伝えていけるよう努めていきます。

Q-04 友だちの良いところを見つけられる。



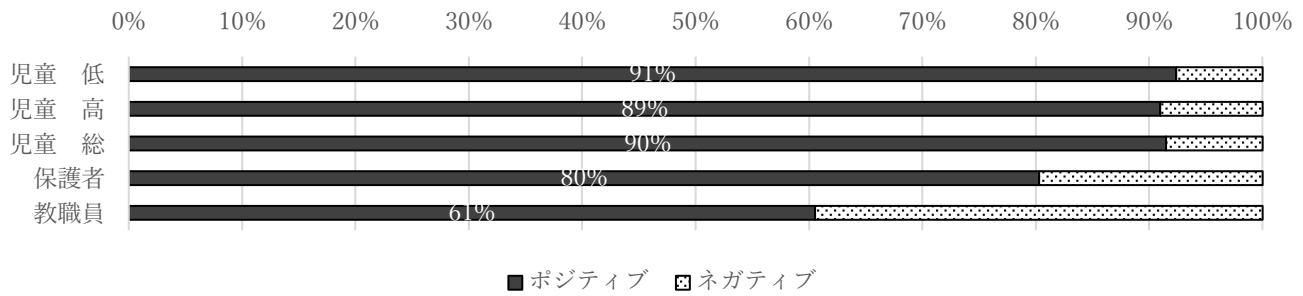
Q-05 友だちと仲良くしている。



Q4・Q5とも、教職員と児童のポジティブ回答が80%を超えています。教職員は、学級活動や学習の中で人間関係作りのスキルアップを、意図的・計画的に行っています。その成果が表れている結果になっていると考えられます。互いを尊重し、良い点や努力している点を認め合うことは、社会に出ていく上でとても大切な資質です。保護者の方にも、取組について知らせていけるよう工夫していきます。

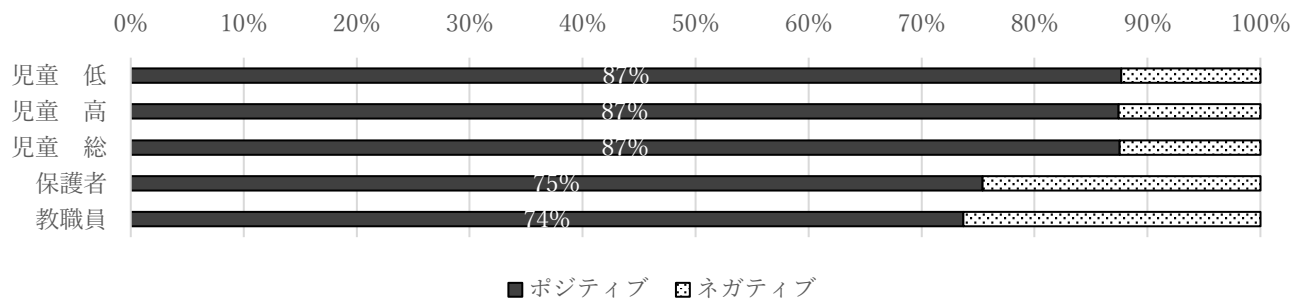


Q-06 あいさつや返事ができる。



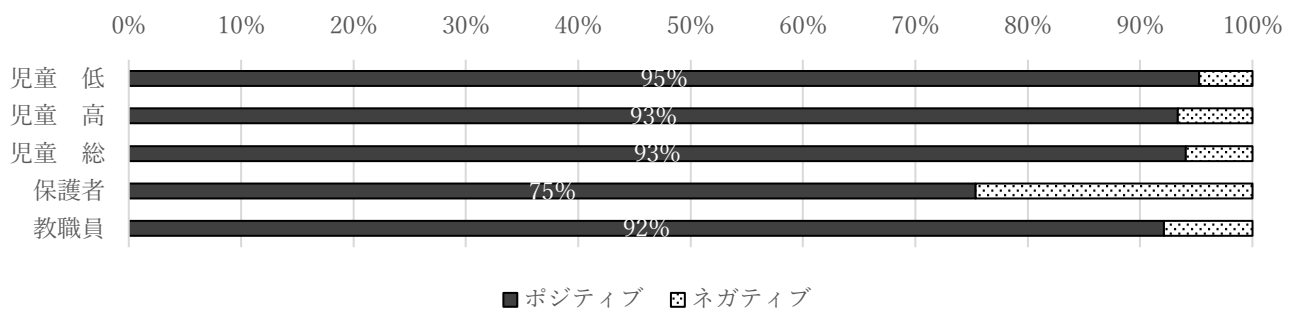
本校の生徒指導の重点として、あいさつをきちんとするということに取り組んできました。その分、教職員の見方は厳しくなっているかもしれません。今後も、相手を見てきちんと挨拶できる児童を目指して保護者の方と協力しながら指導していきます。

Q-07 時間を守って生活している。

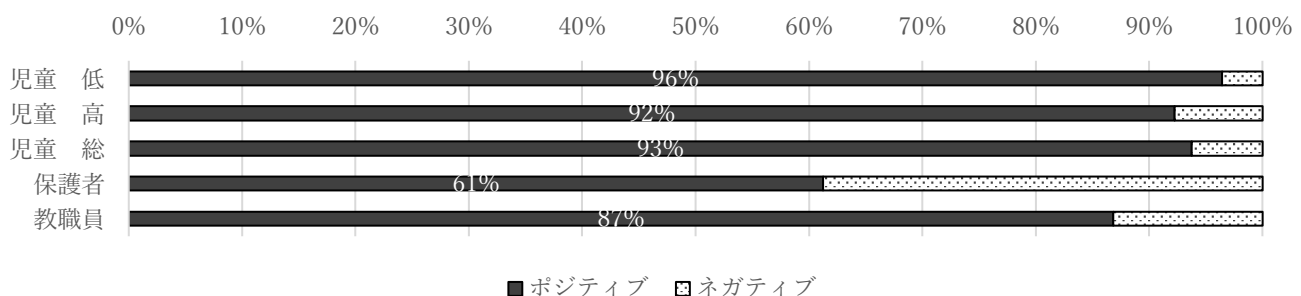


時間を守ることについて、学校では学習の始まりと終わりのチャイムを意識させながら取り組んでいます。声掛けを行えば意識することはできますが、児童自身が気づいてとなるとまだ課題が残ります。ご家庭では、寝る時間や、ゲームの時間で苦慮されている様子がうかがえました。

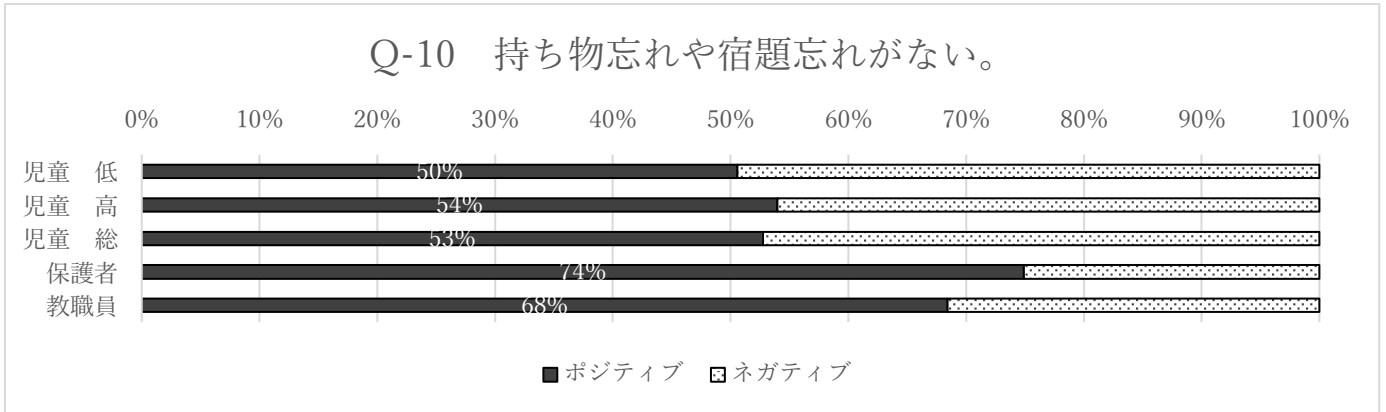
Q-08 決まりを守って生活している。



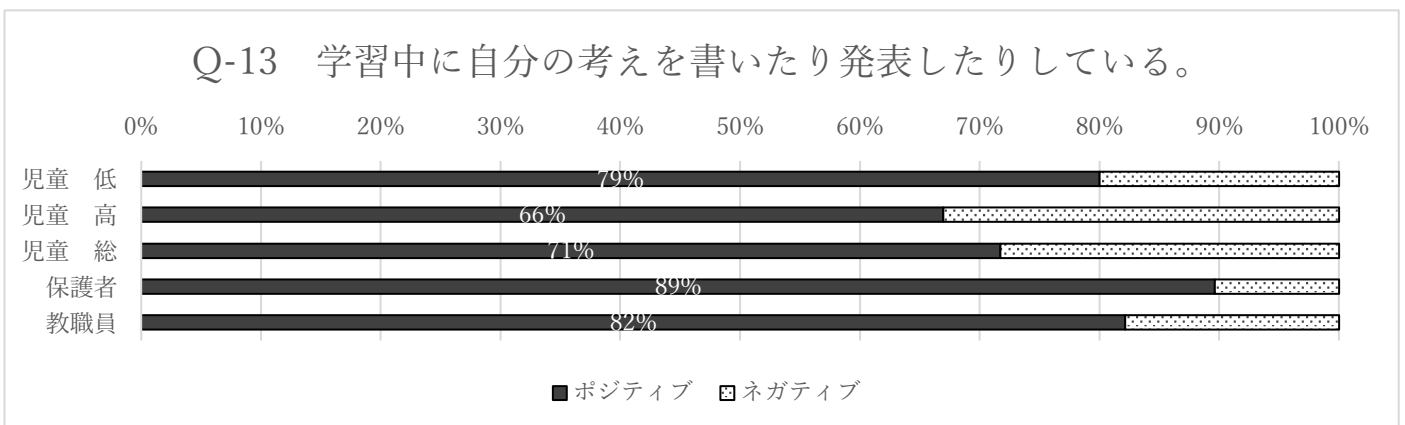
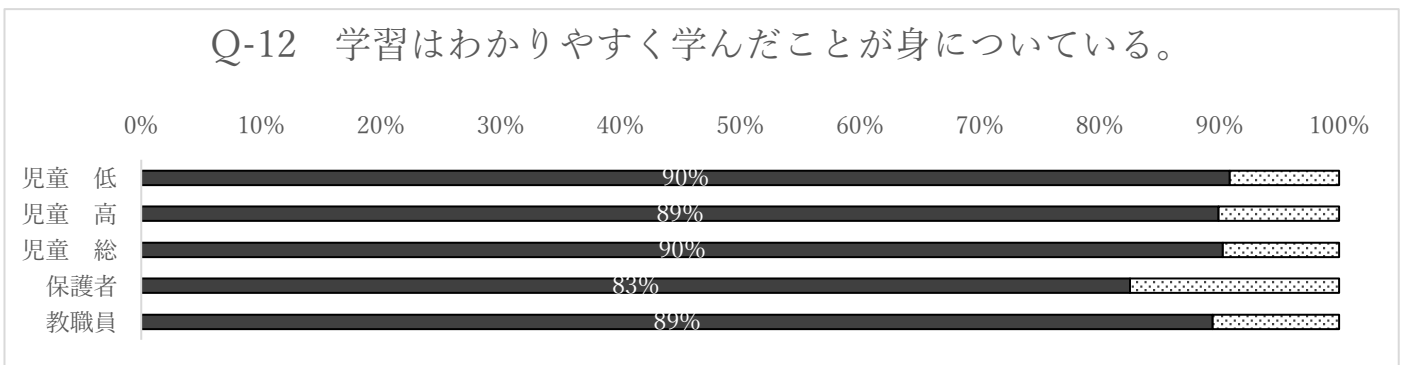
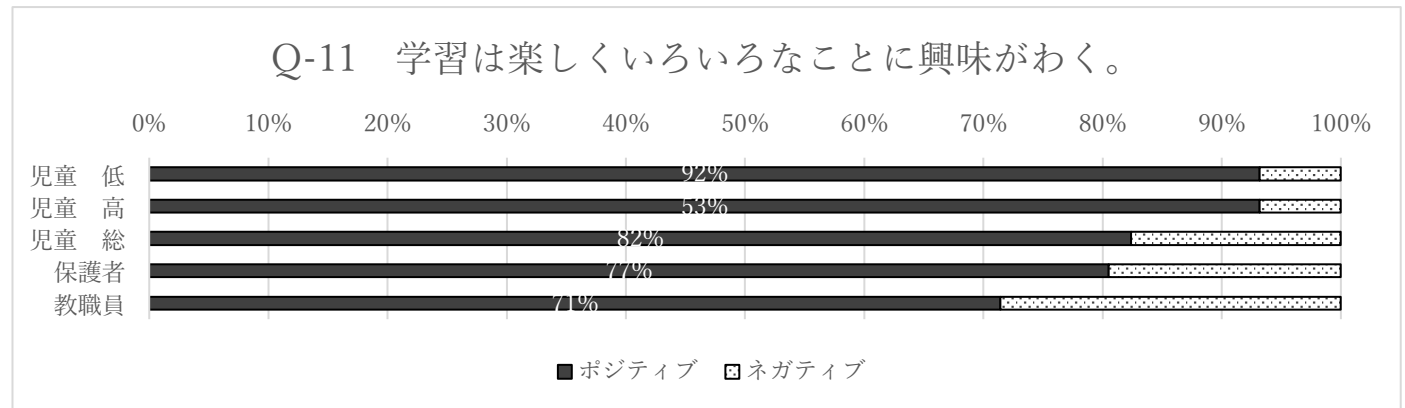
Q-09 まじめに係の仕事や掃除を頑張っている。



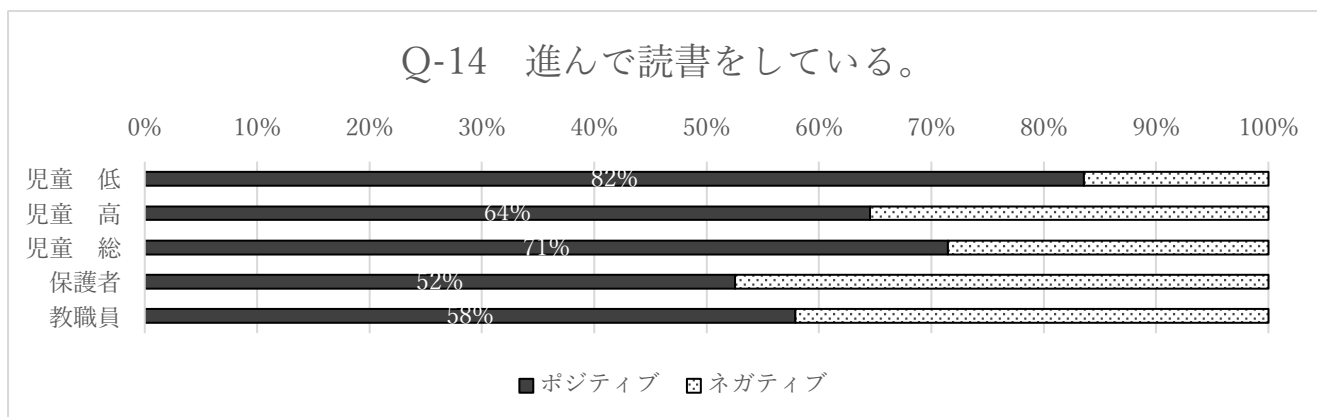
Q8・Q9ともに、保護者の方のポジティブ回答が目標に届いていません。Q7の「時間を守る」の項目と重なるところがあり、家庭学習やゲームの約束で苦慮されている様子がうかがえます。児童・教職員のポジティブ回答は、ともに目的を概ね達成しています。学校では、一人一人の当番の仕事が明確な上、一人一人が責任を果たさないと成り立たない部分があります。子どもたち、学校ではとてもよく頑張っています。



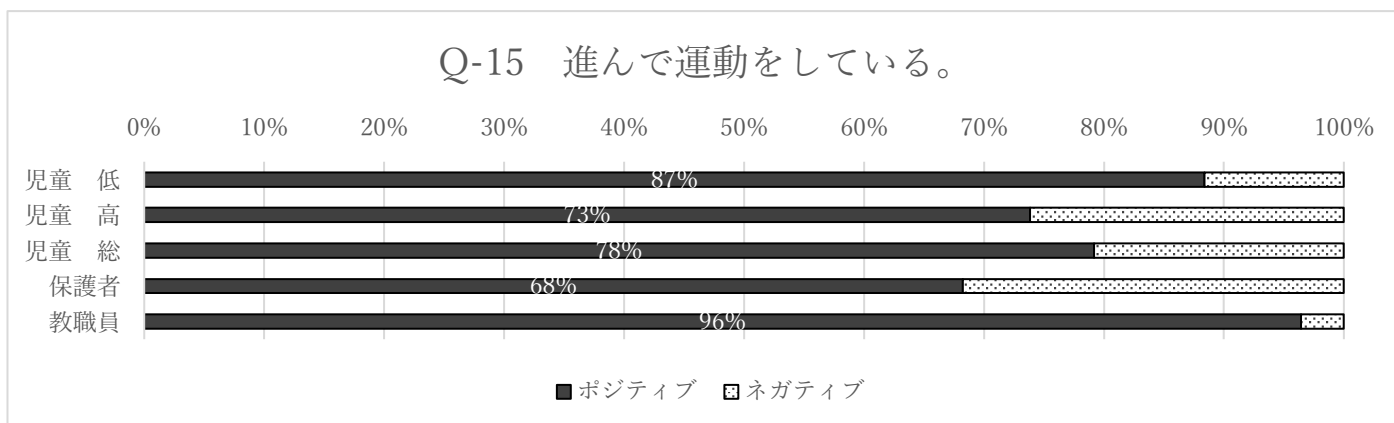
残念ながら、全体として、ポジティブ回答が目標に届きませんでした。特に、児童は半数ほどしか「できている」と回答していません。ただし、忘れ物をして児童が困り感を感じている結果だとすれば、悪い結果だとも言い切れません。困っていれば改善していけばよいのです。ご家庭の協力も必要です。よろしくお願いいたします。



Q11からQ13までは、学習に関するアンケートです。学校では、「主体的・対話的で深い学び」を目指し、単に知識の伝達ではなく、児童が自ら考え、課題を持ち、探求しながら学習していけるよう工夫しています。また、これからの子どもたちに必要な資質として、コミュニケーション能力の育成にも取り組んでいます。概ね目標を達成できていると考えますが、Q13の「自分の考えを書いたり、発表したりしている」については、児童のポジティブ回答が低くなっています。単に黒板を写して書くのではなく、自分の考えを持って書くことは簡単なことではありません。引き続き、あらゆる場面で意図的に「自分の考えを持って深め、整理しまとめたもの（書くことでまとまる）を他者に伝える（発表する）。」力をつけていきたいと考えています。



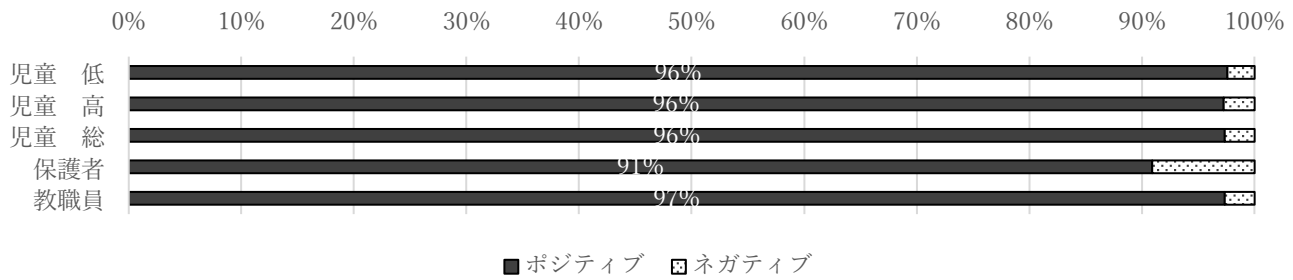
残念ながら、低学年以外はポジティブ回答が目標達成とはなりません。低学年は、1週間に1回、読書の時間として図書室での学習を確保できています。高学年になるにつれ、他の学習内容が増えてくることから、読書として1時間を確保することは困難なのが実情です。しかし、教科を問わず、様々な単元に関連させ、その時に出会わせたい本を提案する等、本に触れる機会を作れるよう工夫しています。また、我孫子図書館と連携し、そよかぜ号が月2回のペースで来校しています。コロナ禍になってから活動が思うようにできていませんが、「ひょうたんから本°」の読み聞かせボランティアの方とも交流を続けています。ご家庭でも、図書館を利用したり、親自身が一緒に本を読んだりしながら読書できる環境を整えてみてください。



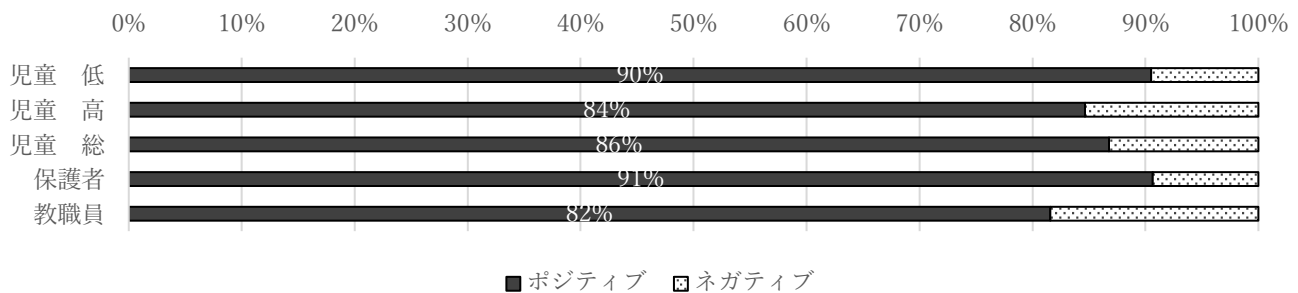
高学年になるほど、運動を避ける児童がいるようですが、学校では体育の学習を始め、休み時間等にも進んで外遊びをしながら体を動かしていくことを推奨しています。進んで体を動かしていくことは、体力をつけていくだけでなく、脳を活性化することや心を落ち着かせることにもつながってきます。Q14の読書活動とQ15の運動は、生涯学習の大きな要素の一つです。心身ともに健康であるために、積極的に取り組んでいきたいと考えています。



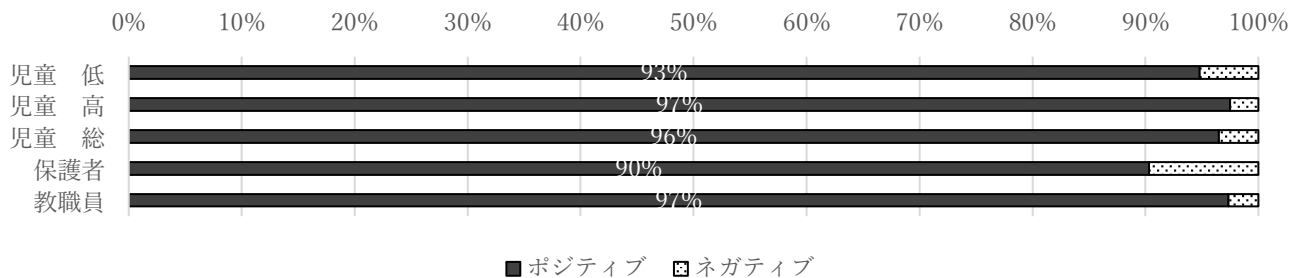
Q-16 感染症予防に気を付けている。



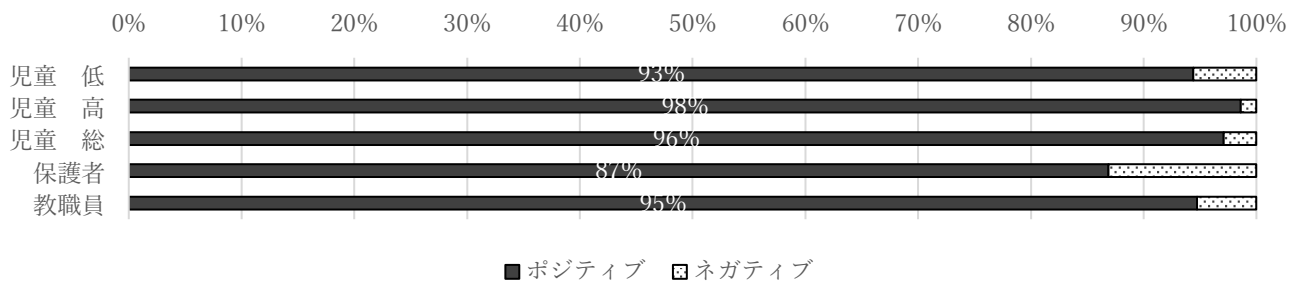
Q-17 交通安全に気をつけている。



Q-18 災害時にどうすればよいかわかる。

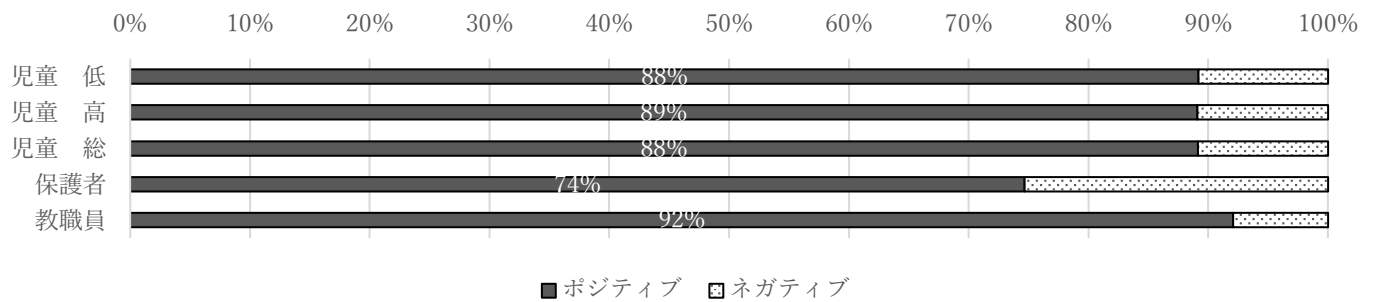


Q-19 不審者に会ったときどうすればよいかわかる。



Q16からQ19は安全教育に関するアンケートです。毎学期ごとの避難訓練を始め、日常的に交通安全について話をするなど、学校では安全教育に努めています。ほぼ、どの項目でもポジティブ回答が目標を達成できており、成果が表れていると考えられます。感染症予防については、2年目に入ったこともあり、児童自身が何をすればよいかわかって行動できるようになってきています。そのことで、教職員のポジティブ回答も高くなっています。様々な場面で、いつでもどこでも自分の大切な命を守っていける力を身につけさせるよう指導を続けます。ご家庭のご協力をお願いいたします。

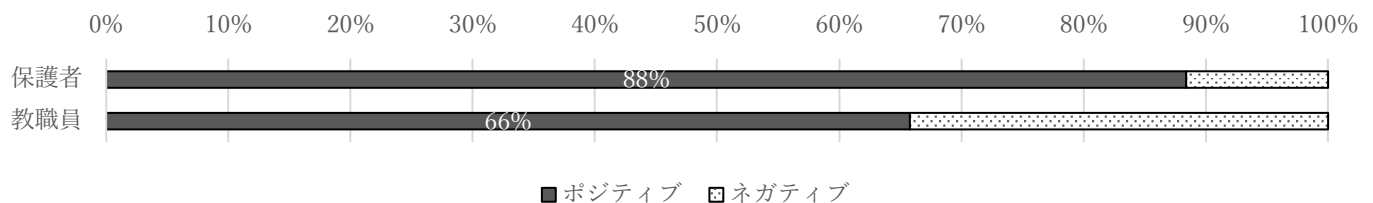
Q-20 こまった時、相談できる大人がいる。



児童・教職員ともポジティブ回答が目標を上回りました。学校には、心の相談室があり、心の相談員が週2回勤務しています。スクールカウンセラーも月2回来校しています。保護者の方にも周知するとともに、教職員に安心して相談してもらえぬ関係を築いていけるよう、引き続き努めていきます。

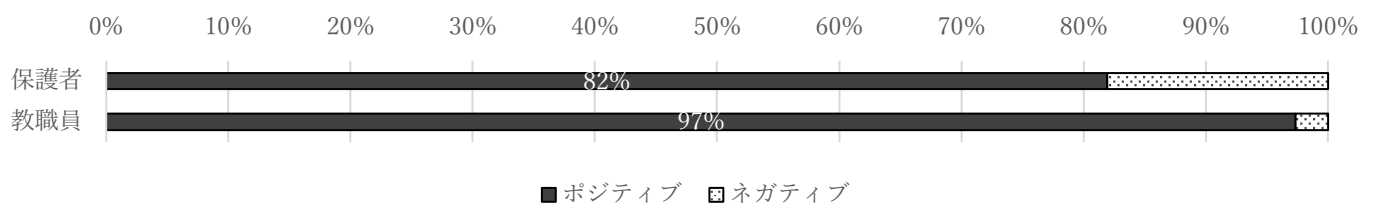
【保護者・教職員のみ実施のアンケート】

Q-21 教育方針などを公開している。



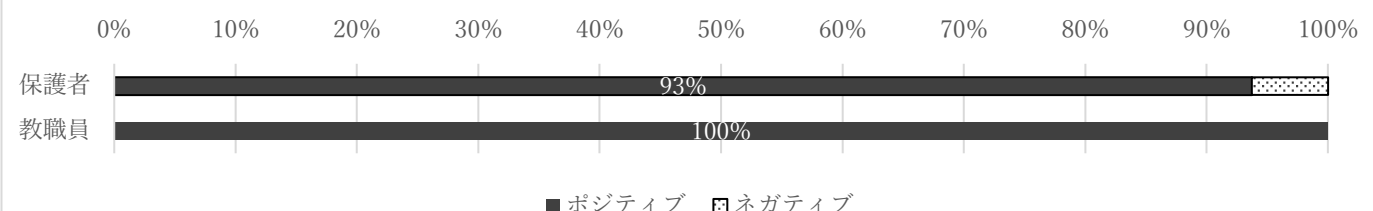
保護者の方から、80%以上のポジティブ回答が得られたことは、たいへんありがたく感じています。教職員のポジティブ回答が下がるのは、今年度、学習参観が思うようにできなかったことが大きく関係していると考えられます。また、学校ホームページの在り方についても工夫が必要だと考えています。必要な情報を公開しつつ、守らなければならない情報もあるためです。また、ホームページ作成にはある程度の時間の確保も必要です。保護者の方に学校の方針を周知していけるよう工夫していきます。

Q-22 児童の将来の幸せを目指して教育活動をしている。

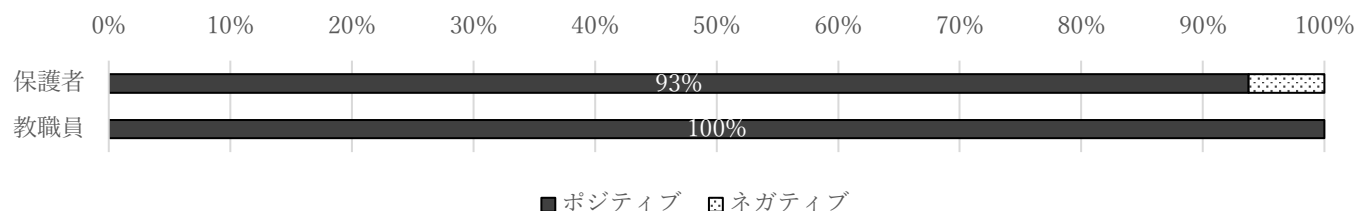


ポジティブ回答の目標を達成しています。10年ごとに見直される学習指導要領は、10年先を見据えて、今どのような教育が必要かを考えて制定されています。我々教職員は、児童の将来を見届けることは難しいのですが、将来の子どもたちに必要な力をつけるべく、教育活動を行っています。

Q-23 学校は、感染症拡大防止対策に取り組んでいる。

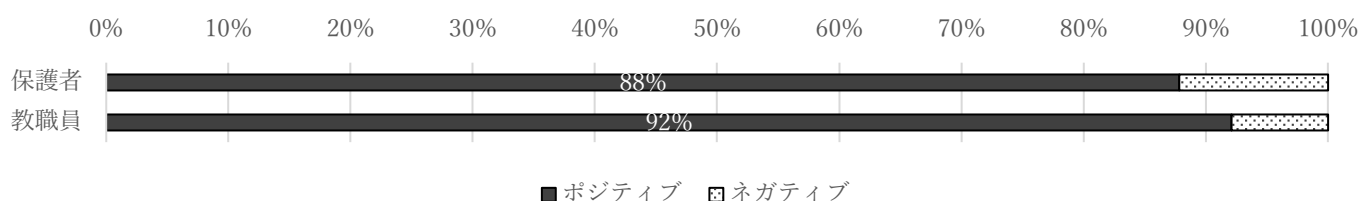


Q-24 学校は感染症対策以外の安全対策に取り組んでいる。

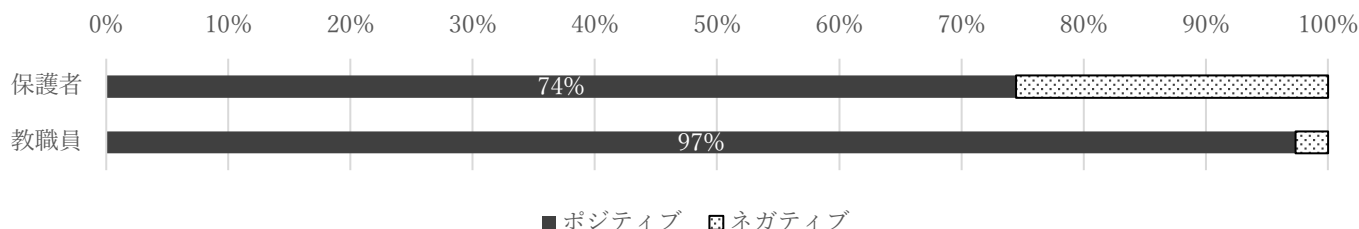


大人目線から学校が安全対策に努めているかを図る設問です。Q23,Q24 共に90%を超えるポジティブ回答を得られており、目標は達成できていると考えます。学校の安全対策は、安全に過ごしていくための環境整備とQ16からQ19までのような児童自らが安全に過ごせるようにしていく安全教育の両輪で進めています。

Q-25 子どもたちが生活しやすい環境を整えている。

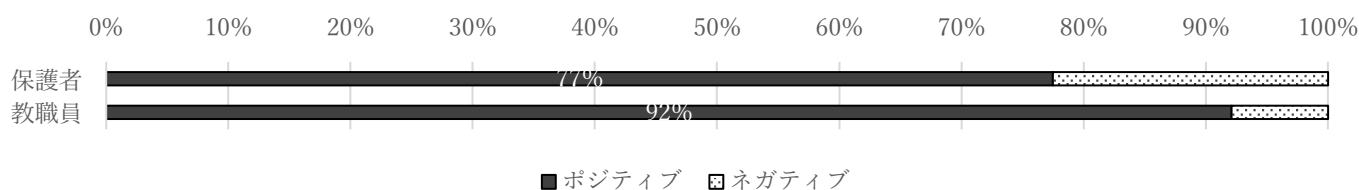


Q-26 学校は、いじめのない環境を整えようとしている。

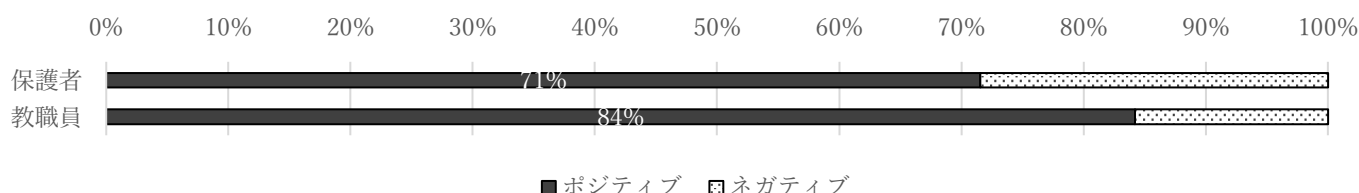


Q25とQ26は児童を取り巻く環境に関する設問です。Q25はポジティブ回答の目標を達成しています。Q26は、保護者の方と教職員でずれが生じています。教職員は、いじめで辛く悲しい思いをする子がいないよう真剣に考えていますので、ご心配なことがありましたら学校までご相談ください。必要に応じて、外部機関とも連携を取りながら、児童に寄り添っていきたいと思います。

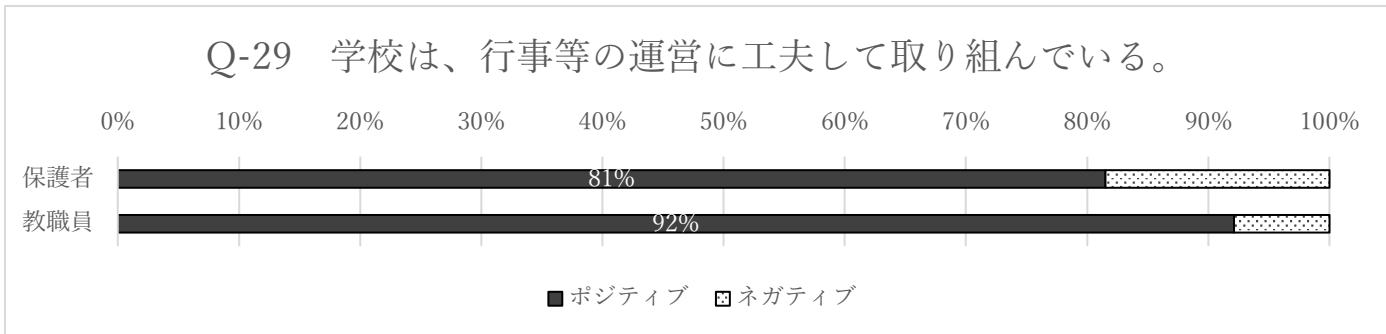
Q-27 学校は、学力向上のために授業等の工夫をしている



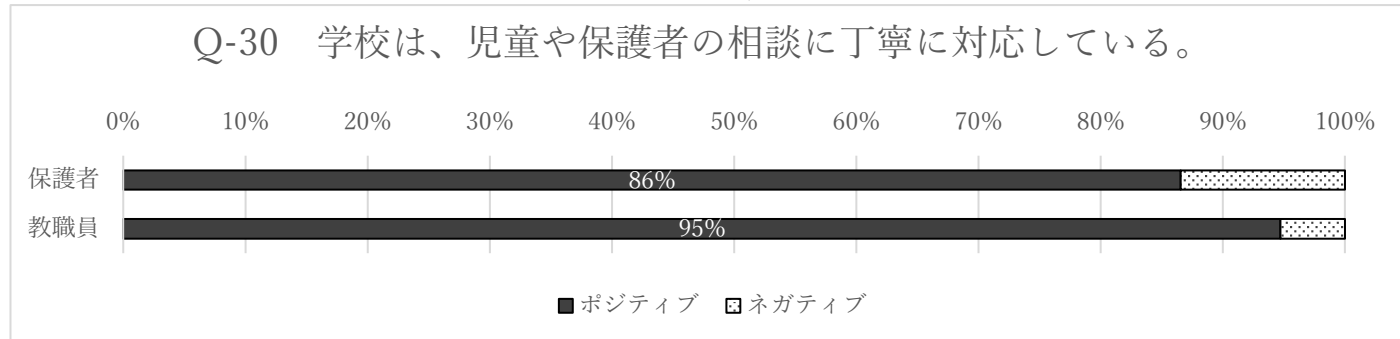
Q-28 学校は、体力向上のために指導方法を工夫している。



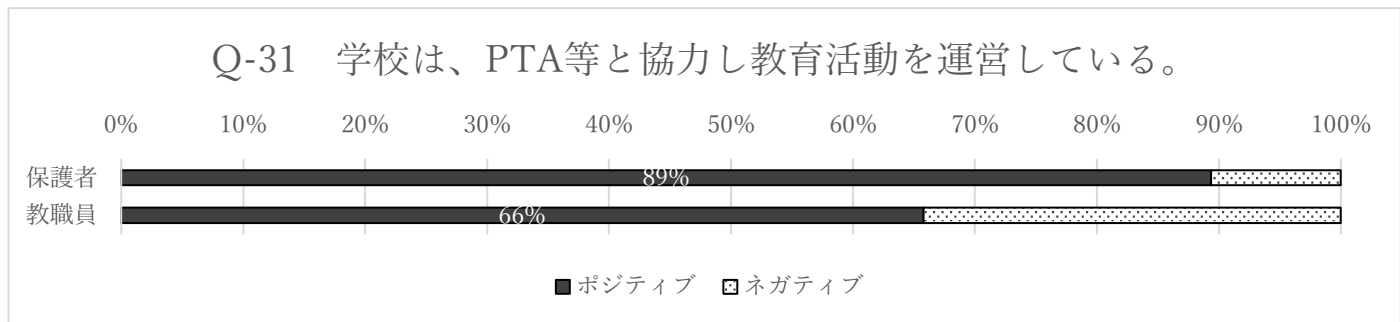
保護者の方のポジティブ回答が残念ながら目標に届きませんでした。我孫子第三小学校では、教職員が日ごろから計画的・組織的に研修を重ねています。今年度は、残念ながら学習参観日を設けることができませんでした。日々の取組をお伝えできるよう、また、児童の学力向上につなげることで保護者の方にご理解いただけるよう努めてまいります。



教職員、保護者とも、ポジティブ回答が目標を達成しています。しかし、コロナ禍 2 年目の今年度は、「なぜ、参観等が始まらないのか」といったご意見もたくさんいただきました。実は、教職員もお子さんの頑張りや、学校での日常の様子を見ていただきたいと本気で考えています。近隣の学校ではできていたとのご指摘もありますが、状況は本当に学校ごとに違っています。今後も感染状況を見ながらになるかと思いますが、2 年間で培った感染対策を取りながら、直接見ていただく機会を作っていく予定です。分散等の方法を取る場合、ご希望の日程に沿えないこともあるかと思えます。ご理解とご協力をお願いいたします。



保護者、教職員共にポジティブ回答の目標に届いています。「こんなこと、相談して大丈夫かな」と思わずに、何か心配なことがあったらご相談ください。



学校では、PTA の皆さん、学校支援ボランティアの方々や地域の方々等、たくさんの方が出入りをして学校教育目標を達成するための教育活動を支えてくださっています。教職員のポジティブ回答が低いのは、学級担任はPTA 役員等の方々とのやりとりをする機会が少ないためだと考えられます。しかし、たくさんの方の協力があることは重々承知しています。従来とは生活様式が変化し、特に負担が大きいとされる PTA の活動の見直しや精選は必要かもしれません。無理のない持続可能な活動をしていくことで、教育活動の充実を図っていきたいと考えています。より良い方法を模索しながら、保護者の方と共に児童の成長を見守っていけるよう、今後ともご協力をお願いいたします。